

空母艦載機移駐に関する意見書

先般、日本政府から、神奈川県厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機移駐が本年7月以降に開始されることが示された。

このたびの空母艦載機の移駐は、沖縄における米軍再編などとともにパッケージで進められることが日米両政府において合意されている米軍再編計画に基づいて進められるものである。

我々は、米軍再編計画が、国防という最重要施策を日米の安全保障体制により、円滑かつ持続的に実施していくために必要不可欠であるということは理解しており、国防の一翼を担うという自負と誇りを胸に、これまでも、米軍岩国基地の安定的運用のために最大限の協力をしてきた。

このたび、厚木からの空母艦載機61機が岩国飛行場に移駐することにより、米軍岩国基地は、沖縄県の米軍嘉手納基地を上回り、極東最大の航空機を保有する基地となる。

我々は、これまでも安全・安心対策や地域振興策を求めてきたが、今後も、岩国市民の安全・安心を守るため、そして、岩国市を基地があっても日本一住みやすい町にしていくための行動を続けていく。

よって、国におかれては、空母艦載機の移駐を直前に控えた岩国市に対して、今後は、各省庁の枠組みを超えた誠意ある対応をされるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月22日

岩 国 市 議 会